

秋田県

JAあきた白神 白神ねぎ生産者

生産

販売



JAの独自助成や白神ねぎブランドの確立で、**所得11%アップ**



JAあきた白神（能代市、藤里町）は、**生産拡大**に向けたJAの独自助成の実施や**販売拡大**に向けた、白神ねぎブランドの確立に向けた取り組みなど、さまざまな取り組みを実践しています。

その結果、白神ねぎ生産者の1経営体当たりの所得は、2019年度に439万円となり、2018年度に比べ45万円、**11.4%の増加を実現**しました。

【JAの具体的取り組みと成果】

生産拡大に向けては、JAの独自助成として、新規に白神ねぎを作付した生産者に対し10a当たり3万円、前年よりも作付を拡大した生産者に対して増反分10a当たり2万円の助成に取り組みました。

その結果、白神ねぎの作付面積は、2018年度は1,680aでしたが、2019年度は2,470aとなり、47.0%増加しました。

販売拡大に向けては、白神ねぎの知名度を向上させ、ブランドを確立するため、白神ねぎのトレードマークの公募・決定や、各種販促グッズの作成・活用を行い、販売単価の維持・向上に取り組みました。

また、2019年度より白神ねぎ出荷用パレットを導入したことで、時間短縮やトラック1台当たりの積載量も増え、腐敗防止や輸送コストの低減にもつながりました。

その結果、白神ねぎの販売額は、2018年度は9,653万円でしたが、2019年度は1億3,489万円となり、39.7%増加しました。

これらの取り組みにより、2018年度から2019年度にかけて、1経営体当たり**11.4%の所得増大を実現**しました。

白神ねぎの作付面積 ※

※白神ねぎを生産する
5経営体の合計

2018年度

2019年度

1,680a

47.0%
増

2,470a

白神ねぎの販売高 ※

※白神ねぎを生産する
5経営体の合計

2018年度

2019年度

9,653万円

39.7%
増

1億3,489万円

1経営体当たりの
平均農業所得 ※

※販売高から平均販売経費を引いた金額

2018年度

2019年度

394万円

11.4%
増

439万円



(白神ねぎの出荷作業)



(パレットへの積み込み)

